

平成 30 年 6 月 18 日現在

機関番号：32636

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2014～2017

課題番号：26301038

研究課題名(和文) 北欧における職業能力の開発・育成と新しい徒弟教育・訓練の効果に関する研究

研究課題名(英文) New Challenge for VET:Apprenticeship on the working place and signification for youngstars in Nordic countries

研究代表者

沼口 博 (NUMAGUCHI, HIROSHI)

大東文化大学・文学部・教授

研究者番号：80102193

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,400,000円

研究成果の概要(和文)：北欧における若者の職業能力の育成は1990年頃から、中世から存在していた徒弟的修行を現代的にアレンジして採用されるようになった。国によってその採用形式は異なっているが、職業現場で職業能力の育成を行う点では共通性が見られる。また、企業などの訓練現場と生徒(学校)との間を仲介するコーディネーターが重要な役割を果たしており、訓練生を受け入れる企業側も求人必要性を背景に丁寧に訓練に対応していた。行政機関も補助金などを利用して訓練の後押しをしており、業界団体が訓練の質を担保するために基準を設けるなどの努力をするなど、産業界、教育機関、行政機関などが緊密に連携、協力をしていることが明らかになった。

研究成果の概要(英文)：At 1990's, Nordic Countries adopted New Apprenticeship to Upper Secondary level Education that is continuing from Middle ages to Recent times to train Apprentices. But the Form of Adoptions are very different by every countries. Although, there are some common profiles like as Training in Work Places, separate from School, Coordinators make adjustments between Trainers and Trainees, Government pull the contents of Apprenticeship together by coordinate between Labors and Managements, and Government make grants for Apprenticeship, etc..

研究分野：教育社会学(産業教育)

キーワード：徒弟的修行 職業教育・訓練 職業資格制度 学位 労働市場

### 1. 研究開始当初の背景

1990年代半ば以降、日本の経営が急激に変化し、正規労働者の抑制、削減と非正規労働者の増加に伴い、企業内における職業能力の育成、訓練が重視されなくなってきた。こうした状況は特に非正規労働者の職業能力の育成が等閑視されることに繋がり、結果として非正規労働者から正規労働者への道が閉ざされることを意味している。

その意味で労働能力を育成されないまま、社会に放り出され、自尊感情も自己実現もかなわず、ワーキング・プアと呼ばれる人々を生み出すことに繋がった。職業的な能力を身に付けることは人間が社会の中で生きていくうえで、基本的な権利であり、また義務だとも思われる。こうした非正規労働者、特に若者に対する労働能力の育成は喫緊の課題となっている。

他方、ヨーロッパでは労働能力の育成は基本的に後期中等教育段階における教育と訓練の目標とされてきた。特に職業能力の学習と訓練の過程に於けるドロップアウト、選択した職業とのミスマッチ及び職業現場に於ける徒弟的修行の導入が北欧諸国(特にスウェーデン、ノルウェー、フィンランド)では大きな課題となってきた。日本の若者に職業能力を保障していくうえで、これら北欧諸国での取り組み、特に学校教育を中心とした職業能力の育成と職場における徒弟的修行の進め方が参考になるのではないかと思われた。

### 2. 研究の目的

北欧における学校教育を中心とした職業教育・訓練制度の中に、どのように徒弟的修行が組み込まれているのか、その訓練方法や修行生と訓練者との関係、政府による支援や関係する職能団体、経営者団体、労働組合連合の姿勢と取り組みなどを明らかにすること、そして職業的な能力を身に付けようとしている生徒(若者)がどのような印象を持っているのかなどについて明らかにすることを目的とした。そのために、一つは社会的な政策としての労働能力の育成について明確にすること。特に政策の立案に関わっている政府関係者、労働組合や職能団体、そして経営者団体の考えを明らかにすること。二つ目に学校教育の中で形成される能力と、職場あるいは学校の実習施設において形成される労働能力の違いを明らかにすること。三つ目に徒弟的修行に取り組んでいる生徒と修行の指導者及び修行先を提供している企業や職場の責任者、そして学校教育関係者との関係がどのような仕組みにあるのかを明らかにすることを目的とした。

### 3. 研究の方法

観察および聞き取り調査と関係資料の収集を中心に北欧関係研究者、職業教育関係者(政府・教育省、経営者団体、労働組合連合、

職能団体など)との交流、意見交換などを通して教育政策に関するそれぞれの考え方、具体的な方針などについて聞き取り調査をした。また、後期中等段階の学校を訪問し、学校内実習や授業を観察し、更に企業に於ける徒弟的修行の実態を視察、同時に修行中の生徒たちに聞き取り調査を実施した。また、徒弟的修行の指導者たちから修行の方法や内容などについて聞き取り調査をした。並行して統計的なデータについても収集した。

職業能力の開発、育成については学校教育に関する政策と労働市場に関する政策、雇用政策及び社会福祉政策に関する政策などが複雑に絡み合っており、これらを総合する政策として職業能力の開発・育成が位置づけられるものと思われるので、そうした政策についての調査も実施した。

### 4. 研究成果

研究成果として以下の4つの成果が得られた。第一に、若者(のみならず失業者や転職希望者、外国人労働者などを含む)の職業能力の開発・育成は北欧では後期中等教育段階から開始され、多くの場合、公共的な教育として、労働能力を保証するものとして位置づけられ、社会的に承認されていることが明らかになった。この点で、わが国の後期中等教育は職業的な能力の開発・育成という点から見た場合、基本的にそうした視点を欠いているものと思われる。第二に、徒弟的修行を引き受けている企業(家族企業も含む)も後継者の育成ということで積極的に若者の職業的な能力の開発・育成に取り組んでおり、徒弟的修行の修了後にその企業に就業してくれることを望んでいる企業が多く見受けられた。第三に、徒弟的修行に取り組んでいる生徒たちが極めて積極的にこの修行に励んでおり、学校の中での教育より実際的で興味深いと、意欲的に取り組んでいる姿を見ることが出来た。第四に、学校の教師たちも、この徒弟的な修行の持つ積極的な意味について理解しており、非常に協力的に対応しているように見受けられた。第五に、学校の教師と企業内における訓練指導者の他に、コーディネーターと呼ばれる、修行生と企業側の訓練指導者の間を取り持つ人間がいて、このコーディネーターの果たしている役割が非常に大きいと思われた。企業側と生徒の双方に強力な提言ができる組織として積極的に今後も関わっていく必要があるのではないかと思われた。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計13件)

沼口博 論説「資本主義の崩壊と地球環境、科学・技術が直面する課題」産業教育学研究第44巻第2号 p.1~p.9 2014年7月

石原 俊時 スウェーデン・モデルと職業教育 「技術教育学の探求」 p.1-p.9 2015年4月

新井 吾朗 フィンランドにおける徒弟訓練 徒弟訓練と職業資格の関係を中心に

「技術教育学の探求」 p.36-p.51 2015年4月  
高橋 保幸 離職者に多雨する公的職業訓練の役割と意義 北欧の職業教育訓練との比較を通して 「技術教育学の探求」 p.52-p.58 2015年4月

嶋内 健 社会的投資が社会的規律か：1990年以降のデンマーク福祉国家における職業教育・訓練の強調 「技術教育学の探求」 p.59-p.65 2015年4月

嶋内 健 デンマークにおける初期職業教育：制度の概要とガバナンス 「技術教育学の探求」 p.73-p.81 2015年4月

岩田 克彦 高度な運用段階にあるデンマークの資格枠組み 概念と課題 「技術教育学の探求」 p.82-p.95 2015年4月

沼口 博 非大学型高等教育機関における実習（技能）の位置づけと役割 『第三段階教育における職業教育のケーススタディ』九州大学「高等教育と学位・資格研究会」ワーキングペーパーシリーズ No.2 第2章第4節 p.119-120 2016年1月15日

沼口 博 職業教育の課題 国際職業教育・訓練会議に参加して JADEC100号 p.18 2016年5月20日

横山悦生、Olafsson, Brynjar Examining the Literature on Basic Educational Ideas Established by the Initiators of the English Art and Craft Movement and the Scandinavian Sloyd 「技術教育学の探求」 2016.10.31

沼口 博 北欧における職業教育・訓練制度の改革と課題—ノルウェーとフィンランドを中心に— 大東文化大学大学院文学研究科教育学専攻「教育学研究」第8号 2017年11月 p.35-46

横山 悦生 製図とスロイドの関係について オットー・サロモン著「技術教育学の探求」2017.10.31

沼口 博 「北欧における職業教育の改革動向 新しい徒弟訓練導入の試み」平成26年度～平成29年度科学研究費補助金（基盤研究B）成果報告書 課題研究番号26301038 平成30年3月 研究代表者 沼口 博（大東文化大学文学部教育学科）

〔学会発表〕（計10件）

Hiroshi Numaguchi, Etsuo Yokoyama, Petros Gougoulakis “ Post-secondary Vocational Education and Training in Japan and Sweden: an identity under construction” VET-conference Stockholm/Marienhavn 12<sup>th</sup>.-13<sup>th</sup>.May 2014

沼口 博 「北欧諸国における新しい徒弟教育の試み 職業教育・訓練制度の改革」

日本教育社会学会第66回大会 2014年9月13日 松山大学

沼口 博・横山悦生「北欧における新たな職業教育・訓練制度の試みについて スウェーデン・デンマーク・フィンランドの調査から」日本産業教育学会第55回研究大会、2014年10月19日

Hiroshi Numaguchi, Etsuo Yokoyama, Petros Gougoulakis “Between the Academy and Industry: Post-Secondary VET in SWEDEN and JAPAN with focus on Workplace-based Training”

IV International Conference & Research Workshop Vocational Education & Training—Emerging Issues? Voices from Research VETYL Research Group, Department of Education, Stockholm University, May 11-12, 2015

沼口 博・横山悦生：北欧諸国における新たな徒弟教育（職場を通じた訓練）の試みについて - スウェーデン・ノルウェーの新たな徒弟訓練調整機関（学校と企業を繋ぐ）の調査を手がかりに 日本産業教育学会56回大会 於：和歌山大学 2015年10月18日(日)

Hiroshi Numaguchi, Etsuo Yokoyama, Petros Gougoulakis “ Work-based learning (WBL) VET in Sweden and Japan: Contemporary challenges and prospects ” Vocational Education & Training Emerging Issues? VOICES FROM RESEARCH V International Conference & Research Workshop, Stockholm, 9<sup>th</sup>, 10<sup>th</sup> May 2016

沼口博：「北欧の職業教育・訓練制度改革の試み 北欧四か国の比較検討」日本教育社会学会第66回大会 発表要旨集録 p.74-75 2016年9月17日 名古屋大学

沼口博・横山悦生：北欧における職業教育・訓練の最近の動向(その4) デンマーク・フィンランドの近年の改革の特徴 日本産業教育学会大57回大会 2016年10月22日 工学院大学

沼口 博・横山悦男 「北欧における職業教育・訓練の最近の動向(その5) デンマーク・フィンランドの近年の改革の特徴」 口頭発表 日本産業教育学会第58回大会 2017年10月1日 於：大阪工業大学

沼口 博「北欧における教育から労働への移行支援 新しい徒弟制度（職場での訓練）による試み」 北欧学会 2017年12月3日 於：早稲田大学

〔図書〕（計1件）

菅沼 隆・河東田 博・河野 哲也編「多元的共生社会の構想」現代書館 2014

〔産業財産権〕

出願状況（計0件）

名称：

発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

沼口 博 (Numaguchi Hiroshi)  
大東文化大学文学部教授  
研究者番号：80102193

### (2) 研究分担者

穴見 明 (Anami Akira)  
大東文化大学法学部教授  
研究者番号：70144102  
横山 悦生 (Yokoyama Etsuo)  
名古屋大学教育学部教授  
研究者番号：40210629  
菅沼 隆 (Suganuma Takashi)  
立教大学経済学部教授  
研究者番号：00226416

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：

### (4) 研究協力者

新井 吾朗 (Arai Goro)  
職業能力開発総合大学校准教授

高橋 保幸 (Takahashi Yasuyuki)  
宮城県立石巻高等技術専門校

嶋内 健 (Shimauchi Takashi)  
立命館大学 (非常勤講師)

石原 俊時 (Ishihara Shunji)  
東京大学経済学部准教授

岩田 克彦 (Iwata Katsuhiko)  
労働政策研究・研修機構シニア研究員